



# みなみやま

発行責任者 / 井手 宏 編集発行 / 愛知国際病院内・病院だより委員会  
〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-31 ☎(0561)73-7721

新年のごあいさつを申し上げます。  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

職員一同

## 健康アラカルト

## 胃腸の話 58

ノロウイルスの呼称がなくなる？

～人の名前のついた病名～

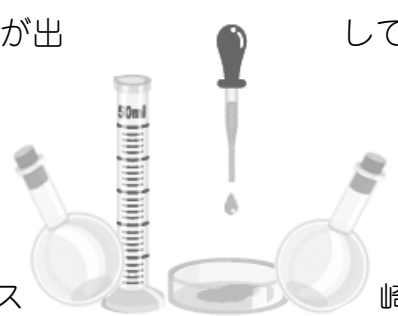
副院長(消化器科) 太田 信吉

ノロウイルスは冬場に流行する急性胃腸炎で、最近施設内で流行することもあるなど、注意を要する病気です。もともとは牡蠣(かき)などの貝類にいて、それを生食することで感染します。感染した人が嘔吐するとウイルスが空气中に広がり、一緒にいて世話をした人にも感染します。感染力が強いため、その防御にはかなり気を遣う必要があります。

ところで、日本には「野呂」さんという名字がありますが、この「野呂」の名字の方たちからノロウイルスの名前を使わないでほしいという要望が出ています。このウイルスは、形の上からは小型球状ウイルス(SRSV)と呼ばれ、ウイルス学的にはカリシウイルス科ノロウイルス属ノーウォークウイルス

という分類ですから、正式には「ノーウォークウイルス」と呼ぶのが正しいのかもしれませんが、印象の悪い名前が有名になると、いじめに使われたりして良くないのかも知れませんが、これからは新聞などで「ノーウォークウイルス」と書かれることが増える可能性があります。

医学的に名前が使われるということは実は名誉なことではあるのです。食中毒で有名な赤痢菌の正式名は、シゲラと言われます。これは、志賀潔博士が最初に発見したからです。感染性腸炎の原因として細菌を見つけたことは、医学の発展に大きく寄与しましたので、名前が使われたのだと思います。また赤ちゃんが罹りやすい川崎病も、神奈川県の川崎市と



は全く関係ありません。発熱と湿疹と頸部リンパ節肥大の疾患である小児急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群（MCLS）として1961年に日本赤十字社の川崎富作小児科医が報告したことで命名され、世界的にも川崎病（KD）と呼ばれています。この病気の原因はいまだはっきりしていません。また、慢性甲状腺炎は橋本病と呼ばれています。九州大学の橋本策先生が、この病気を1912年にドイツの学術誌で初めて発表したことによります。甲状腺が硬く腫れて、甲状腺機能が低下します。T細胞を中心とするリンパ球が甲状腺に対して反応し、攻撃・

破壊していく病気で、自己免疫疾患の病気でも初期に発見されたと言われています。

このように、名前が使われることは大きな名誉ですが、ノロウイルスに関しては、野呂さんとは全く関係ありませんし、しかも印象が悪いのでそう呼ばれるのは迷惑だということも理解できます。

いずれにしても、急な嘔吐、下痢の時には周りの人もマスク、手袋をしてお世話をし、後から手洗いをするように心がけ、感染が広がらないようにご注意ください。



## チャプレン中井の日々雑感（6）

チャプレン 中井 珠 恵

「ホスピスに入ってゆっくりするつもりでしたが、思いがけず忙しいです」と、入院して間もなくの患者さんが、苦笑いしておっしゃるのを聞くことがあります。ホスピスでは、月曜日は絵手紙教室、水曜日は音楽療法、木曜日はパッチワーク、金曜日または土曜日には押し花といった催しがお昼にラウンジであり、その後ティータイムをすることになっています。その他にも週1回から2回の入浴があり、自立した生活を保つためのリハビリ、足の浮腫を和らげ気分を落ち着かせるためのマッサージを受ける方もいらっしゃいます。もちろんいずれも強制ではありませんが、積極的な方は、毎日何か予定が入っている程のハードスケジュールです。

Aさんもそんなお一人です。午後になると一番にラウンジに来られ、催しに参加なさいます。絵手紙の時間ですと、黙ってじっと紙を見つめ、筆に全神経を集中なさい

ます。そのお姿を拝見しているとぴりっとした緊張感を感じ、声をかけることが憚られました。

ある日、病室でお話を伺っていたときに思い切ってAさんに聞きました。

「Aさんは、欠かさず絵や歌の会に参加なさいますね。どのようなお気持ちでなさるのですか？」

するとAさんは、「僕は休みの日も仕事に関する本や資料を読むことしかしませんでしたので、ここでしているような余暇的なことは全く専門外でした。ですがね、年を取ると記憶する力が衰えます。それは大変恐ろしいことです。ですから新しい分野に挑戦することは大変良い刺激になります」と、真剣な顔でおっしゃいました。Aさんは、ホスピスでの催しを新たに挑戦するための課題の場と考えておられるようでした。

それからまたしばらくが経ちました。そ

れまで黙々と絵手紙をしておられた A さんが、隣に座っていたボランティアの話かけに、笑顔で答えておられたのでした。その後、A さんはこんなふうにおっしゃいました。「仕事では四角四面の話しかしませんでした。ですが、みなさん話題を広げて行くのが上手いですな。わたしの話を上手に引き出して下さる。おかげでわたしもずいぶんやさしく話をする事ができるようになりました。それにね、以前は仕事以外に関心がありませんでした。しかし一人暮らしをするようになって、ここでの会合はありがたく感じます。孤独ですからそういったものに傾倒したいと思うんですな」。A さんの真剣に取り組むお姿は変わりませんでした。毎日、ボランティアや他の方々と共に過ごす中で、以前のような張りつめ

た緊張感が減り、こちらから声をかける心隙を見せて下さるようになったように感じました。

病気または、年を取ることで、知性や理性、そして身体の機能が失われていくことは本当に悲しく、辛いことです。しかし一瞬一瞬の記憶が失われていても、自分を律すること、人と心を通わすことが、変わることなく生きることを支えていることを A さんは教えて下さいます。ホスピスの様々な催しは、単なるスケジュールなのではなく、このような営みの場となっていることに気づかされます。



つかれないか心配だったけどねえ」と声をかけられました。そういえば、毎日必ず池の前に座って覗き込んでいる患者さんがいます。何か呼びかけているようにも見えます。また、お見舞いの方やご家族の方が、行き帰りに立ち止まっている姿もよく見かけます。先ほどのご家族が「小さいけどこの金魚、大きな働きをしているのよ」とおっしゃっていました。

## 紫苑からのお知らせ

当院ホスピスの玄関前に小さい池があります。そこには以前から錦鯉と金魚が数匹飼われているのですが、1 年ほど前に黒いデメキンの子供が加わりました。池に放すには早いかないと心配になるくらい小さいのに、大きな魚たちに混じって懸命に泳いでいます。半年前には、職員が池に鯉の卵があるのを偶然見つけ、早速別の容器に移したところ、卵からかえり、ケースの中ですくすくと育っています。用心してなかなか姿を見せませんが、時々おり見える背中には、小さいながらもすでに赤や黒やらの錦の模様をしっかりと背負っています。

先日、患者さんのご家族から「黒い金魚、大きくなりましたね。最初は他の魚たちにつ

花壇の草花やテーブルの一輪の花も、ときにはこんな役割を果たしているのかもしれませんが。ボランティアの活動は、患者さんと直接関わることよりは、むしろ間接的な関わりの方が多のですが、手入れする草花を通して、目には見えませんが、患者さんやご家族とつながっていることを信じ、活動していきたいと思っています。

ボランティアコーディネーター

高田 清子

## 初穂の言いたい放題

小児科 井手 初穂

### おかたづけ

「捨てる技術」という本を覚えていらっしゃいますか？最近「断・捨・離」「魔法のかたづけ」。再び、日本中が持ち物を減らすかたづけに夢中です。

年末の大掃除で、皆さんは気持ち良く「おかたづけ」をすることができましたか？

すっきり片付いていて欲しい。これは、誰もが願うことです。収納のカリスマたちによって、いつの時代もいろいろな「か

たづけ」の方法について語られ

てきました。そして、「かた

づけ」の苦手な私は、雑誌

や本を買っては研究して、

時々片付けに没頭しまし

た。「かたづけが趣味なの

ね」と言われてしまう

ほど、かたづけてもすぐに

台無しになって、また、新

しいかたづけ方法を研究してい

ます。たったふたりで暮らしている我が家。なんでこんなにたくさんの物があるのだろうとため息ばかりが出ます。どの引き出しも棚も物がいっぱい詰まっているのです。

でも、特別高価な物が入っているわけでもないし、珍しい物が入っているわけでもないのです。「それは家族の歴史よ」と優しい友人は言ってくれます。

最近、「老前整理」という言葉があります。本当に年を取ってしまう前に、持ち物をシンプルにしてしまおうという意味です。年を取ると、物を捨てたくないだけでなく、物を捨てるエネルギーがなくなってきました。し

かも、持っていることを忘れてしまいます。私も年齢を重ねてきて、自分が把握できる物の量が減ってきたので、その分持ち物を減らさないといけない時期、つまり「老前整理」の時期がきているのだと思い始めています。

1年ほど前に、テレビで「断捨離」を勉強した女性がお母さんの遺品整理をするという番組をみました。故人にとって宝物だった品々も思い出の品になり、宝物ではなくなっていました。彼女は、長い時間をかけて全ての物に目を通して、お母さんが残した大量の物を整理していました。全てを吟味して残した数点の品物を見て、私の心のどこかにつかえていた物がとれたような気がしました。お

かげで、封印していた母の遺品の整理が

始められました。

若い世代がかたづけるとい

うこととは少し違うことか

なあと思いながら、おっ

くうな気持ちを時々奮い

立たせ、子どもたちの若

い力を借りながら少しづ

つ私の新たなおかたづけが

始まっています。今までは趣

味程度にしかできなかった「お

かたづけ」とは、かなり意味が変わ

ってきたように思います。

メディアで紹介されている「おかたづけ」。習慣づけるために毎日15分ずつ時間を決めてコツコツやる。一気に莫大なエネルギーを費やしやってしまう。「おかたづけ」には、いろいろなやりかたがあります。しかし、その根底にあるものは一緒なのです。新たに物を持つことに対する基準を定めるということ「人生哲学」＝「生き方を変える」ということなのです。かたづけのカリスマたちは、表現こそ違いますが、「おかたづけ」を成就するためには、「生き方」を変えなければな



らないと言っています。「断捨離」「習慣を変える」「きらめく物だけを残す」どれも魅力的な響きですが、目の前の物を「ゴミ」と決めるか「宝」と決めるか。それまで何の疑問も感じないで普通に買っていた物を買わないことにする。これらのことを、今までとは違う判断基準でやるのです。このことには、とてつもない精神力と体力が必要です。本を読んで、その上っ面だけを真似てかたづけても、またすぐにリバウンドしてしまうことは間違いありません。なぜならば、「おかたづけ」は「生き方を変える」ことなのですから。

飽食や運動不足から糖尿病になってしまっ

たのを、薬の力を借りないで「生活習慣を変える」＝「生き方を変える」だけで治すことができる人がとても少ないことから、どれほど難しいことかわかります。そう、「おかたづけ」って本当に難しいことなのです。

なんだか、私がかたづけられないことの言い訳をしているような気がしてきましたが、失敗しても何度でも「理想の生き方」について考えながら、「生き方を変える」努力をするのが、前向きで素敵な人生だと思います。これからも、哲学しながら「おかたづけ」いたしましょう。ところでみなさん、このお話にときめきましたか？

## 愛泉館からのお知らせ



お健やかに新年をお迎えのことと存じます。新しい1年も地域のみなさまと共に心の通う、暖かい1年を過ごしたいと思います。4月には、老人保健施設愛泉館が20年の節目を迎えます。5つの理念を掲げ、ご利用者（ゲストと呼んでいます）、ご家族、スタッフが協力関係を築き在宅支援を行っています。社会情勢の変化や介護保険の変化に対応しながら、変えてはいけないことを変えない愛泉館でありたいと願っています。2012年も愛泉館のご支援・ご協力よろしくお願い致します。

### [ ボランティア活動にご協力ください ]

特技がなくてもボランティア活動はできます。ゲストとお話したり、掃除したり、食事の準備をしたり、ボランティアで活躍する場がたくさんあります。ボランティア活動はご自身の充実感を得ること、生活のメリハリとなることに繋がります。担当者とお話だけでも結構です。ご連絡お待ち致しております。

担当（ボランティアコーディネーター）

佐賀・杉山（0561-74-1711）

### 賛助会員募集のお知らせ

愛知国際病院ホスピスでは、賛助会員を募集しています。アメニティーの充実（施設環境、造園、園芸）、ホスピスでの諸行事、ホスピス相談の充実、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。（ご入会いただいた方には年4回の「みなみやま」年2回の「ホスピスだより」をお送りいたします）

入会  
方法

下記の口座に会費をお振り込み下さい。

郵便振替口座 00890-5-3757

口座名義 愛知国際病院ホスピス賛助会

—□ 1000円（おいくらでも結構ですが、できましたら5□以上でお願いいたします。）

# AHIからのお知らせ

## ★「想い」を伝える 遺言書の書き方 講座★

自分の「最期」をどう迎えるか。それは年齢に関係なく、すべての人にとって大きな課題です。その時のために、心の準備もしたいし、残していくものをどうするかも考えたい。できれば大切な人たちに「ありがとう」の言葉や、心からのメッセージも伝えられたら…。「遺言書」を書くことは、自分の人生を振り返り、この社会の中での自分を考えることでもあります。講師の平良一器(たいらかずき)さんは、元 AHI 職員で、今は司法書士として活躍中です。やさしい言葉で、「遺言書」の考え方や書き方をわかりやすく教えてもらいます。

日 時：2012年2月25日(土) 10～12時  
場 所：アジア保健研修所 (AHI)

日進市米野木町南山 987-30

(愛知国際病院となり)

講 師：平良 一器 (司法書士)

主 催：アジア保健研修所 (担当：羽佐田)

申 込：電話 0561-73-1950

E-mail : info@ahi-japan.jp

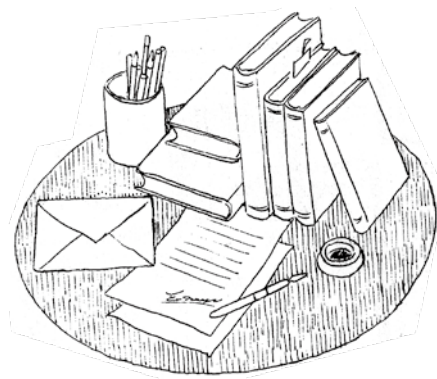
参加費：無料 (定員 20 名、予約をお願いします)

## ★相続登記無料相談会一のお知らせ★

日 時：2012年3月24日(土) 10～12時  
(ひと組30分・計4組：基本的な内容に関する相談会となります)

場 所：アジア保健研修所

(事前予約をお願いします。0561-73-1950)



## お 願 い

ご不要になった木綿の布(シーツ、タオル、シャツ、浴衣)がありましたらご寄付いただけますか? なお、10cm×15cm程度に切っていたけると大変助かります。お持ちいただいたときは受付までお申し出下さい。 看護助手より

- ・ 昨年は大変な1年でした。
- ・ 今以て先の見えない生活に疲れ果てておられる方々を憶えます。あたらしい年の平和を祈らざるをえません。
- ・ 「みなみやま」では記事に関するご意見、ご感想などを受け付けております。よりよい紙面作りに努力いたしますのでご指導よろしくお願いいたします。

これまでお寄せ頂いているご意見・ご感想、大変感謝致しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。宛先は

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-31 愛知国際病院内「みなみやま」編集部

電子メールの場合、アドレスは m.kondo@aisen-kai.jp です。お待ちいたしております。

編集長 近藤 正嗣